

沼津高架P Iプロジェクト



第11回P I委員会 審議事項

【第11回P I委員会】

【審議事項1】 ステップ5のプロセス評価について

ステップ5におけるP I の評価の視点

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
1	多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか	代替案が多様な観点から評価され、互恵的な解決を模索しているか？
2	どのステップの検討をしているか明確にしながらかを進めているか	ステップ5は代替案の比較評価の段階であって、新たな代替案や評価項目を考えるステップ(ステップ3,4)や 推奨案を選定するステップ(ステップ6)ではないことが明確にされているか？
3	議論が混乱しないよう、各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか	代替案の評価結果やその意味を十分に理解し、共有できるような検討を行っているか？ 検討の内容が本来ステップ6で行う推奨案の選定と区別されているか？
4	多様な利害や関心を踏まえた上で、目標や代替案、評価項目を設定しているか	ステップ5における代替案の比較評価は、ステップ2で共有した地域づくりの目標に対する評価であることが十分に理解されるように進められているか？

ステップ5におけるP I の評価の視点

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
5	市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか	<p>広報紙やオープンハウスなどを用いて市民的議論としての幅の広さが保たれているか？</p> <p>車座談議などの直接的な双方向コミュニケーションの機会を通じて、様々なステークホルダー(利害関係者)との対話が継続されているか？</p>
6	積極的かつ適切に情報を提供しているか、十分に意見を聴き、論点を把握しているか	<p>勉強会での議論の状況を広報紙や車座談議などの手法を通じて広く共有するとともに、多様な意見を把握し、論点を整理しながら進めているか？</p> <p>ステップ5では非常に込み入った難しい内容になってくるが、分かりやすく伝えるような努力がなされているか？</p>
7	PI委員会の助言を踏まえて、適切にPIを実施しているか	<p><u>PI委員会の助言に対して、適切な対応がなされているか？</u></p> <p>1)技術的な検討内容に関して、第三者の専門家から指導や監査を仰ぎ、公正で客観的な検討を心がけること。</p> <p>2)女性や若年層なども含む広範な層に多様な方法でアプローチすること。</p> <p>3)関係者間の対立がさらに鮮明になる可能性もあるため、時間管理概念を再度認識しつつ、緻細な議論に陥らず俯瞰的な議論となるようなプロセス運営に努めること。</p> <p>4) 対立軸を巡る争いに立ち戻らないよう、議論の視点に留意しながら互恵的な解決を目指すこと</p>

ステップ5におけるP I の評価の視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
1	多様な利害や関心を調整して互恵的な解決を模索しているか	代替案が多様な観点から評価され、互恵的な解決を模索しているか？

【自己点検】

➤ステップ3-4において選定された複数の代替案を選定された評価項目ごとに比較評価し、各代替案のごとの特徴を偏ることなく客観的に整理しているが、このように各代替案の可能性を多様な観点から見比べることで、互恵的な解決策の余地が見出しやすくなったのではないか。

ステップ5におけるP I の評価の視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
2	どのステップの検討をしているか明確にしながら進めているか	ステップ5は代替案の比較評価の段階であって、新たな代替案や評価項目を考えるステップ(ステップ3,4)や 推奨案を選定するステップ(ステップ6)ではないことが明確にされているか？

【自己点検】

➤ ステップ5では代替案の比較評価は行うが、案の選定は行わないことを繰り返し伝えたことで、特定の案を残すことに執着せずに客観的に比較評価できる素地をつくることができたのではないか。

➤ 14の代替案を比較評価することは煩雑なため、実現性が比較的高い7案を中心に検討を進めているが、これら7案を選定したのではなく、実現性に明らかに問題がある代替素案を議論の対象から外しただけで、妥当性があればいつでも外した代替案を議論の対象に戻せることを明示し、プロセスの混乱を避け信頼性の高いプロセスとなるよう努力した。

ステップ5におけるP I の評価の視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
3	議論が混乱しないよう、各ステップの趣旨に応じた検討を行っているか	代替案の評価結果やその意味を十分に理解し、共有できるような検討を行っているか？ 検討の内容が本来ステップ6で行う推奨案の選定と区別されているか？

【自己点検】

- 各代替案を客観的に捉え理解することができるよう、代替案ごとにその特徴を整理した。特徴は、メリット(強み)、デメリット(弱み)、可能性(機会)、課題(リスク)に分けて整理し(SWOT分析)、客観的かつ公平に整理するように努めた。
- ステップ6において代替案を選定する際に必要となる政策判断が含まれないよう、客観的な比較評価に努めた。

ステップ5におけるP I の評価の視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
4	多様な利害や関心を踏まえた上で、目標や代替案、評価項目を設定しているか	ステップ5における代替案の比較評価は、ステップ2で共有した地域づくりの目標に対する評価であることが十分に理解されるように進められているか？

【自己点検】

➤各代替案/代替素案の比較評価の結果を示す際には、同じページの中で先ず目標を示し、続いてその目標を評価する観点となる評価項目と具体指標を示すなど、目標との関係を常に意識できるよう、配布資料を工夫した。

ステップ5におけるP I の評価の視点(案)

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
5	市民や関係者との多重多層のコミュニケーションを行っているか	広報紙やオープンハウスなどを用いて市民的議論としての幅の広さが保たれているか？ 車座談議などの直接的な双方向コミュニケーションの機会を通じて、様々なステークホルダー(利害関係者)との対話が継続されているか？

【自己点検】

- 勉強会の成果をオープンハウスやインターネットを通じ広く情報提供した。
- 勉強会に参加している各種団体等、多くの主体を対象に車座談議を実施した。
- ホームページ、FAXで常時意見を募集している。

ステップ5におけるP I の評価の視点

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
6	積極的かつ適切に情報を提供しているか、十分に意見を聴き、論点を把握しているか	勉強会での議論の状況を広報紙や車座談議などの手法を通じて広く共有するとともに、多様な意見を把握し、論点を整理しながら進めているか？ ステップ5では非常に込み入った難しい内容になってくるが、分かりやすく伝えるような努力がなされているか？

【自己点検】

- ホームページやフェイスブックにて最新の情報を積極的に発信した。
- オープンハウスを2箇所で開催し、広く意見を把握するよう努めた。
- オープンハウスのパネルや広報誌においては、各代替案の特徴を簡潔に示し、分かりやすく外観できるように努めた。

ステップ5におけるP I の評価の視点

	実施計画での評価の視点	ステップ5での評価の視点(案)
7	PI委員会の助言を踏まえて、適切にPIを実施しているか	<p>PI委員会の助言に対して、適切な対応がなされているか？</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)技術的な検討内容に関して、第三者の専門家から指導や監査を仰ぎ、公正で客観的な検討を心がけること。 2)女性や若年層なども含む広範な層に多様な方法でアプローチすること。 3)関係者間の対立がさらに鮮明になる可能性もあるため、時間管理概念を再度認識しつつ、緻細な議論に陥らず俯瞰的な議論となるようなプロセス運営に努めること。 4) 対立軸を巡る争いに立ち戻らないよう、議論の視点に留意しながら互恵的な解決を目指すこと

【自己点検】

- ▶ オープンハウスをショッピングセンター内で開催することで、女性や若年層の意見の把握に努めた。
- ▶ 勉強会では、比較項目ごとの比較結果や算定方法に関する議論と、各代替案ごとの特徴についての議論を分けるなど、回ごとの論点を明確に区別することで、これらの内容の混乱を避けるなど、議論の整流化と効率化に努めた。
- ▶ このような縦横の議論を通じて、俯瞰的に捉えられるよう工夫した。

ステップ5における自己点検 総括

- ▶各代替案を客観的に捉え理解することができるよう、代替案ごとに特徴を、メリット(強み)、デメリット(弱み)、可能性(機会)、課題(リスク)に分けて整理し(SWOT分析)、客観的かつ公平に整理するように努めた。
- ▶勉強会では、比較項目ごとの比較結果や算定方法に関する議論と、各代替案ごとの特徴についての議論を分けるなど、回ごとの論点を明確に区別することで、これらの内容の混乱を避けるなど、議論の整流化と効率化に努めた。

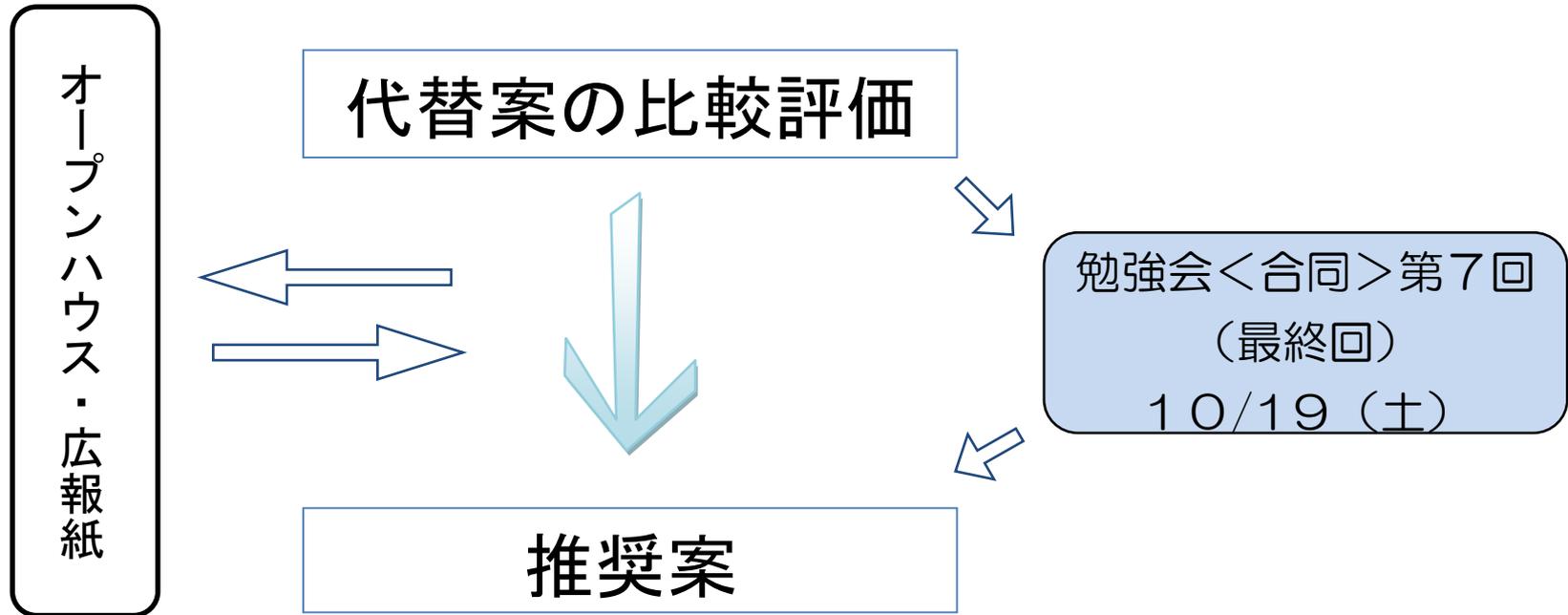
⇒次回勉強会(10/19)にステップ6の議論を行う。

【審議事項2】

ステップ6の進め方について

ステップ6の進め方

ステップ6:意思決定にあたり、推奨する案を選定するとともにその根拠を整理する



※沼津高架PIプロジェクト推進本部が選定